

海外市場情報 -43- 「米国で食事をする時のヒント」

Global Powder Technology Market-USA and More -43-

トリプルエーマシン(株) 代表取締役 石戸 克典

1. はじめに

今回は久しぶりに米国での『食』について取り上げてみたい。以前にも触れたが、米国出張時、日本人にとって食べ物の悩みはつきない。昼に軽く食べようと思っても、蕎麦屋があるわけでもなく、ハンバーガーショップに行くと、食べきれないくらいの大きさに面食らうことも多い。ただ、最近では、ラーメンショップが米国の主要な都市に存在し、日本の有名店（一風堂（現在3店舗）、山頭火（2018年9月現在15店舗）など）も米国への出店を増やしている。また、寿司を食べる米国人も非常に増えてきた。巻きずしのバリエーションは日本より多いのではと思う店も多く存在する。以前は、海苔を日本人が食べていると、紙を食べているといわれたものだが、最近そのような言われ方を聞かなくなった。

2. 米国と日本のレストランの違い～チップ制度

通常チップを払う必要のない、イートインコーナーやファストフード店以外では、勝手にテーブルにつかないで、案内係もしくは給仕係が案内してくれるのを待つ。多くの店で入口にレジがなく、テーブルで支払うことが多い。最近では、クレジットカードで支払うことが多いので、料金明細を持ってきてもらったならその上にクレジットカードを置くだけでよい。チップ額を追加記入可能な状態で印字した紙を持ってくるので、チップを足して合計を書き、自分のサインをすれば会計を終えることができる。入口にレジのあるレストランは、チップだけテーブルに置いて、レジにて現金で支払う。もしくは、カードで支払う場合は、チップ込みの金額をレジで支払うことになる。

また、レストランで給仕係を呼んでいる客が少ないのは、テーブルごとに給仕が決まっているため、多くの客が自分のところの給仕がくるのをじっと待っている。どうしても呼びたいときは、近くの店の人に、テーブル担当の給仕を呼んでほしいと伝えるのがよいやり方である。

チップ制は、米国でサービスの質を高く保つために必要な制度といわれており、給仕係の給料の一部となっているので、Tax前の金額の15%（普通）～20%（良いサービス）は払う必要があるとされる。15%は給料の一部に見込まれているので、15%をきると給料が減ることになるのでよほどの理由がない限り、15%をきらないようにしたい。フロアマネジャーが別にいるような高級レストランでは、18%のチップが最低といわれている。最近、電子

レシートに、Gratuity（チップのこと）15% US\$6.78などと計算して書いてくれていることが多いが、注意してみないと、Tax込みの金額を自動計算している例があり、自分でTax前の金額を計算して正しい数字かどうかチェックしたうえで、記入したい。

3. Doggy bag (Box) ～食べきれなかったとき

多くの店で量が多く、食べきれないことがあるが、米国人を見ても持ち帰る人が多く、ほとんどの店で、持ち帰りを奨励し、残したときに、“Do you need a box?”と聞いてくれる。訴訟社会の米国であるが、食物については自己責任で食べるということが共通認識になっているらしい。

無理して食べきらず、「もったいない」の精神で、残して持ち帰るとというのが、自分の健康のためにも良いことだと思う。

4. 酒を飲むにはパスポートが必要

米国で、飲酒（酒気帯び）運転は、日本と同様非常に厳しく取り締まられている。車社会で代行サービスも見つけられないので、運転する人は飲まないことが基本である。飲めない人、もしくは運転のために飲まない人は、米国ではO'Doule's（アルコール0.5%以下）がおすすめ。ノンアルコール飲料の草分けで、味もコクもある。

酒をサーブする飲食店で年齢確認はよく行われるが、年齢確認を求められたときに、パスポートなどの年齢を証明する写真付きの証明書を持っていないと、酒を飲むことができないので、飲食のために外出する時に要注意である。聞かれたときにパスポートを提示できないのに、酒をサーブすることは厳しく禁じられている（場合により営業停止になる）。この件では例外はないので、日本からの出張者が米国で夜食をするときには、パスポートを携帯することを忘れないようにしたい。

5. おわりに

『食』は生活の基本であり、これを豊かにすることで、米国での活動も活発にでき、米国への出張の楽しみも増える。米国にうまいものなしと言われるが、最近ほうまいものに出会えることも増えてきた。コーヒーばかり、ステーキでは霜降り肉に出会えなくても赤身でとてもおいしいステーキに出会える店が多い。米国出張中、毎日食事をするので、是非、米国の食を積極的に楽しんでいただきたい。Let's enjoy the dinner.